

平成23年度

新潟大学大学院保健学研究科  
(博士後期課程)

**学 生 募 集 要 項**

新潟大学大学院保健学研究科

# 理念と目的

## 1. 理念

保健学は、人々の健康、疾病並びに障害を研究し、健康と福祉の向上に寄与することを追求する学問であり、医学や医療学だけでなく、社会学、心理学及び社会福祉学などを包括する総合的かつ学際的な科学とされています。本保健学研究科博士後期課程の理念は、看護学、放射線技術科学及び検査技術科学の各分野がそれぞれの立場から、個人並びに集団における健康支援と疾病の予防を積極的に推進し、健康寿命の延伸と生命・生活の質の向上をはかることを通して、学際的である保健学の発展に貢献することです。かかる理念に沿って、3分野は独自の手法と創造性をもって、健康支援に結びつく保健学の体系化と健康に関連する生命現象の探求を遂行します。

## 2. 目的及び人材養成

創造的な研究能力を有する以下の人材を養成することを目標とします。

### ① 研究者の育成

保健学という共通基盤の上に立脚し、看護学、放射線技術科学並びに検査技術科学それぞれの分野における学問体系の確立と技術の開発を積極的に推進し、特化した専門領域において第一人者となるような研究者を育成します。

### ② 教育者の育成

保健学に関する広い学識と専門領域における高い見識並びに優れた研究能力を有し、医療専門職者の養成に貢献できる教育者を育成します。

### ③ 高度医療専門職者の育成

博士前期課程（修士課程）で培われた高度の専門的能力をさらに高め、保健医療の実践の場において指導的・専門的立場から実務を遂行し、自立的な研究が併行して行える人材を育成します。

以上に示した人材の育成を通して広く健康支援と疾病予防に寄与し、地域医療の質の向上に貢献すると共に、海外との学術的交流を推進し、その成果を世界に発信することを目指します。

## 3. 求める学生像

- ① 看護学、放射線技術科学並びに検査技術科学それぞれの分野における学問体系の確立と技術の開発に積極的に取り組む意志のある学生
- ② 保健学に関する広い学識と専門領域に関する優れた研究能力を修得し、医療専門職者の養成に貢献する意志のある学生
- ③ 保健医療の実践の場において指導的・専門的立場から実務を遂行し、自立的な研究が併行して行う資質を修得する意志のある学生
- ④ 以上に加えて、国際的な視野を持ち、文化、社会、人間の多様性を認め合うことができるとともに、あらゆる変化に対して弾力的に対応できる能力を有し、かつ自ら新たな道を切り開く意志のある学生

# 目 次

分野名及び募集人員	1
〔一般入試・社会人特別入試・私費外国人留学生特別入試〕	1
・ 出願資格等	1
・ 出願資格の審査	8
・ 出願期間	9
・ 出願手続等	9
・ 入学者選抜の方法	10
・ 合格発表	11
・ 入学手続等	11
・ 長期履修学生制度	12
〔進学者選考〕	13
・ 出願資格等	13
・ 出願期間	13
・ 出願手続等	14
・ 進学者選考の方法	14
・ 合格発表	15
・ 進学手続等	15
〔入学・進学案内等〕	17
・ 入学・進学案内	17
・ 教育方法の特例	17
・ 長期履修学生制度	17
・ 履修科目・履修指導・研究指導等	18

## 入試日程等

### ◇入試日程

	8月入試	12月入試
出願期間	平成22年7月23日(金)～7月29日(木) 〔必着〕	平成22年11月5日(金)～11月10日(水) 〔必着〕
資格審査申請期間 (該当者のみ)	平成22年7月7日(水)～7月13日(火)	平成22年10月19日(火)～10月21日(木)
資格審査結果通知 (該当者のみ)	平成22年7月20日(火)	平成22年10月29日(金)
試験日	平成22年8月27日(金)	平成22年12月13日(月)
合格発表	平成22年9月17日(金)	平成22年12月24日(金)
入学手続	平成23年3月3日(木)～平成23年3月4日(金)	

### ◇試験会場

新潟大学医学部保健学科校舎  
新潟市中央区旭町通2番町746番地

### ◇入試事務

〒951-8518 新潟市中央区旭町通2番町746番地  
新潟大学医歯学系保健学科事務室学務係  
☎ (025) 227-2357・2358

## 分野名及び募集人員

専攻名	教育研究分野	募集人員	備考
保健学専攻	看護学	6人	8月入試及び12月入試を合わせた募集人員です。
	放射線技術科学		
	検査技術科学		

(注) 募集人員は、一般入試，社会人特別入試，私費外国人留学生特別入試及び進学者選考を合わせた人数です。

## 〔一般入試・社会人特別入試・私費外国人留学生特別入試〕

### ・出願資格等

#### 1. 一般入試

(1) 次のいずれかに該当する者とします。

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ② 外国において、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑤ 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑥ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育の16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの

- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年3月までに24歳に達するもの

- 志願する者は、希望する分野の特定研究指導教員（24ページ参照）に事前に連絡し、出願してください。
- 出願資格②、③により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の確認を行いますので、8ページの2. 提出先等（照会先）の係に問い合わせの上、同係の指示する提出書類とともに返信用封筒（長形3号に返信先の住所・氏名等を記入し、350円分の切手をはったもの）を提出してください。
- 出願資格⑤～⑦により出願を希望する者は、出願に先立ち資格審査を行います。8ページの「出願資格の審査」を参照してください。

(2) 出願に必要な書類

①入 学 志 願 票	本要項に添付の用紙を使用してください。なお、「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を所定欄に確実に貼ってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)	
②受 験 票 ・ 写 真 票	所定箇所に写真（3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。）をそれぞれはってください。	
③成 績 証 明 書	出身学校長（研究科長、学部長等）が作成し、厳封したもの	
④最終学歴の修了証明書 (右のいずれか)	修了(又は見込み)証明書	出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したもの
	卒業証明書	出身大学の学部長（又は学長）が作成したもの
	学位授与証明書又は学位申請受理証明書	大学評価・学位授与機構が作成したもの
⑤修 士 論 文 等	修士の学位を有する者は、修士論文の写し及び論文の要旨（本研究科所定の用紙で2,000字程度）各1部 また、専門職学位を有する者で、修士論文に相当する論文を有する場合は、当該論文の写し1部	
	修士課程修了見込みの者及び出願資格④～⑦により出願する者は、研究経過報告書（本研究科所定の用紙で2,000字程度）	
⑥研 究 (希 望) 計 画 書	本研究科所定の用紙	
⑦研 究 業 績 の 概 要	A4版で400字以内で様式は任意、若しくは専門領域で最新の業績等のコピー	

<p>⑧検 定 料 30,000円</p>	<p>本要項に添付の「振込依頼書(新潟大学大学院保健学研究科(博士後期課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</p> <p>なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</li> <li>・検定料の振込みは、8月入試は平成22年7月16日(金)から7月29日(木)〔15時〕まで、12月入試は平成22年10月29日(金)から11月10日(木)〔15時〕までの期間内に必ず行ってください。(※土・日曜日及び祝日の振込みは、できません。)</li> <li>・ATM(現金自動預払機)での振込みはできません。</li> </ul>
<p>⑨検 定 料 納 付 証 明 書 (新潟大学提出用)</p>	<p>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を入学願書の所定欄にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)</p>
<p>⑩返信用封筒2枚作成 ・受験票在中(小封筒) ・合格通知書在中(小封筒)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。</li> <li>・「受験票在中」には、郵便切手360円をはってください。</li> <li>・「合格通知書在中」の封筒には、郵便切手をはる必要はありません。</li> </ul>
<p>⑪連絡受信先シール</p>	<p>志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記したもの</p>
<p>⑫登録原票記載事項証明書 又は旅券の写し</p>	<p>日本に在留する外国人 なお、出願時に日本国内に在住しない者は、受験のために有効な査証の写しを提出してください。</p>

## 2. 社会人特別入試

### (1) 出願資格

この制度は社会人を対象にした選抜試験であり、出願できる者は、入学時に医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において3年以上の専門的な実務経験(通算可)を有する者で次のいずれかに該当し、入学後も引き続き勤務を続ける者

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者

- ⑤ 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑥ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育の16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成23年3月までに24歳に達するもの

- 志願する者は、希望する分野の特定研究指導教員(24ページ参照)に事前に連絡し、出願してください。
- 出願資格②、③により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の確認を行いますので、8ページの2.提出先等(照会先)の係に問い合わせの上、同係の指示する提出書類とともに返信用封筒(長形3号に返信先の住所・氏名等を記入し、350円分の切手を貼付したもの)を提出してください。
- 出願資格⑤～⑦により出願を希望する者は、出願に先立ち資格審査を行います。8ページの「出願資格の審査」を参照してください。

- 「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」について  
特別入試(社会人)入学者に対して、大学院での学習を容易とするために「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」があります。

参 考

大学院設置基準第14条(昭和49年文部省令第28号抜粋)

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

ただし、本特例を受ける場合にあっても本大学院において指定した講義等の日時の範囲内で受講が可能なこととします。

- ◎ 第14条適用希望者は、入学願書の第14条特例の希望の有無欄に○印で表記してください。
- ◎ 第14条適用者に対しては、6、7限目(18:05~21:15)の時間帯で開講することもあります。
- ◎ 授業によっては、集中講義(土曜日、日曜日を含む。)の授業もあります。
- ◎ 第14条適用者で、上記以外の授業形態を希望する場合は、指導教員と相談してください。

ただし、希望どおりの授業形態とはならない場合があります。この場合は修業期間は3年以上を要することがあります。

- 社会人は、標準修業年限を超えての計画的な履修(長期履修4年、5年)を許可することがあります。

- 社会人で企業等を退職し、入学する者は一般入試で出願してください。

(2) 出願に必要な書類

①入 学 志 願 票	本要項に添付の用紙を使用してください。なお、「 <b>検定料納付証明書(新潟大学提出用)</b> 」を所定欄に確実にはってください。(※ <b>取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。</b> )	
②受 験 票 ・ 写 真 票	所定箇所に写真（3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。）をそれぞれはってください。	
③成 績 証 明 書	出身学校長（研究科長，学部長等）が作成し，厳封したもの	
④最終学歴の修了証明書 (右のいずれか)	修了(又は見込み)証明書	出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したもの
	卒業証明書	出身大学の学部長（又は学長）が作成したもの
	学位授与証明書又は学位申請受理証明書	大学評価・学位授与機構が作成したもの
⑤研 究 (希 望) 計 画 書	本研究科所定の用紙	
⑥研 究 業 績 等 調 書	本研究科所定の用紙	
⑦研 究 業 績 の 概 要	A4版で400字以内で様式は任意，若しくは専門領域で最新の業績等のコピー	
⑧検 定 料 30,000円	<p>本要項に添付の「<b>振込依頼書(新潟大学大学院保健学研究科(博士後期課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)</b>」に必要事項を記入し，以下の点に留意のうえ，切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し，窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際，<b>必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</b></p> <p>なお，振込手数料は，志願者本人の負担となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼人氏名欄は，必ず志願者本人の氏名を記入してください。</li> <li>・検定料の振込みは，8月入試は平成22年7月16日(金)から7月29日(木)〔15時〕まで，12月入試は平成22年10月29日(金)から11月10日(木)〔15時〕までの期間内に必ず行ってください。(※土・日曜日及び祝日の振込みは，できません。)</li> <li>・ATM(現金自動預払機)での振込みはできません。</li> </ul>	
⑨検 定 料 納 付 証 明 書 (新 潟 大 学 提 出 用)	<b>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を入学願書の所定欄にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)</b>	
⑩返 信 用 封 筒 2 枚 作 成 ・ 受 験 票 在 中 (小 封 筒) ・ 合 格 通 知 書 在 中 (小 封 筒)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・封筒には，志願者の郵便番号，住所及び氏名を記入してください。</li> <li>・「受験票在中」には，郵便切手360円をはってください。</li> <li>・「合格通知書在中」の封筒には，郵便切手をはる必要はありません。</li> </ul>	
⑪就 学 承 諾 書	本研究科所定の用紙	

⑫連絡受信先シール	志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記したもの
⑬登録原票記載事項証明書 又は旅券の写し	日本に在留する外国人 なお、出願時に日本国内に在住しない者は、受験のために有効な査証の写しを提出してください。

### 3. 私費外国人留学生特別入試

#### (1) 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成23年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑤ 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑥ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育の16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成23年3月までに24歳に達するもの

- 志願する者は、希望する分野の特定研究指導教員(24ページ参照)に事前に連絡し、出願してください。
- 出願資格②、③により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の確認を行いますので、8ページの2. 提出先等(照会先)の係に問い合わせの上、同係の指示する提出書類とともに返信用封筒(長形3号に返信先の住所・氏名等を記入し、350円分の切手をはったもの)を提出してください。
- 出願資格⑤～⑦により出願を希望する者は、出願に先立ち資格審査を行います。8ページの「出願資格の審査」を参照してください。

(2) 出願に必要な書類

①入 学 志 願 票	本要項に添付の用紙を使用してください。なお、「 <b>検定料納付証明書(新潟大学提出用)</b> 」を所定欄に確実にはってください。(※ <b>取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。</b> )	
②受 験 票 ・ 写 真 票	所定箇所に写真（3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。）をそれぞれはってください。	
③成 績 証 明 書	出身学校長（研究科長，学部長等）が作成し，厳封したもの	
④最終学歴の修了証明書 （右のいずれか）	修了(又は見込み)証明書	出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したもの
	学位授与証明書又は学位申請受理証明書	大学評価・学位授与機構が作成したもの
⑤研 究 (希 望) 計 画 書	本研究科所定の用紙	
⑥検 定 料 30,000円	<p>本要項に添付の「<b>振込依頼書(新潟大学大学院保健学研究科(博士後期課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)</b>」に必要事項を記入し，以下の点に留意のうえ，切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し，窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際，<b>必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</b></p> <p>なお，振込手数料は，志願者本人の負担となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼人氏名欄は，必ず志願者本人の氏名を記入してください。</li> <li>・検定料の振込みは，8月入試は平成22年7月16日(金)から7月29日(木)〔15時〕まで，12月入試は平成22年10月29日(金)から11月10日(水)〔15時〕までの期間内に必ず行ってください。(※土・日曜日及び祝日の振込みは，できません。)</li> <li>・ATM(現金自動預払機)での振込みはできません。</li> </ul>	
⑦検 定 料 納 付 証 明 書 (新 潟 大 学 提 出 用)	<b>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を入学願書の所定欄にはってください。</b> (※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)	
⑧返信用封筒2枚作成 ・受験票在中(小封筒) ・合格通知書在中(小封筒)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・封筒には，志願者の郵便番号，住所及び氏名を記入してください。</li> <li>・「受験票在中」には，郵便切手360円をはってください。</li> <li>・「合格通知書在中」の封筒には，郵便切手をはる必要はありません。</li> </ul>	
⑨連 絡 受 信 先 シ ー ル	志願者の郵便番号，住所及び氏名を明記したもの	
⑩登 録 原 票 記 載 事 項 証 明 書 又 は 旅 券 の 写 し	日本に在留する外国人 なお，出願時に日本国内に在住しない者は，受験のために有効な査証の写しを提出してください。	

## ・ 出願資格の審査

- 入学試験出願資格認定申請を必要とする者は、希望する分野の特定研究指導教員（24ページ参照）に事前に連絡してください。

本要項の出願資格等のうち「1の(1)の⑤～⑦」, 「2の(1)の⑤～⑦」, 「3の(1)の⑤～⑦」により出願を希望する者は、事前に次の手続きを行い、出願資格の審査を受けてから出願してください。

なお、提出書類のうち、本研究科所定の用紙は、下記の照会先へ予め申し出て受領してください。

### 1. 出願資格審査申請期間

8月入試は平成22年7月7日(水)～7月13日(火)午後5時【厳守】

12月入試は平成22年10月19日(火)～10月21日(木)午後5時【厳守】

(郵送による場合も、上記期間(必着)と同じ)

### 2. 提出先等(照会先)

〒951-8518 新潟市中央区旭町通2番町746番地

新潟大学医歯学系保健学科事務室学務係 ☎ (025) 227-2357・2358

郵送する場合は、書留郵便とし、封筒の表に「保健学研究科入学試験出願資格申請書在中」と朱書きしてください。

### 3. 提出書類

出願資格「1の(1)の⑤～⑦」, 「2の(1)の⑤～⑦」, 「3の(1)の⑤～⑦」に該当する者

- ① 入学試験出願資格認定申請書(本研究科所定用紙)
- ② 最終学歴の卒業(修了)証明書
- ③ 最終学歴の成績証明書
- ④ 研究(希望)計画書(本研究科所定用紙)
- ⑤ 修士論文要旨又は研究経過報告書(本研究科所定用紙)
- ⑥ 研究業績等調書(本研究科所定用紙)
- ⑦ 上記⑥に記載した論文、研究発表等の写し
- ⑧ 封筒(審査結果通知用)1通(長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名等を記入し、郵便切手350円分をはってください。)

### 4. 審査方法

提出書類により出願資格の有無を審査します。なお、必要がある場合は面接を行います。(面接の日程は、別途連絡します。)

### 5. 審査結果の通知

審査の結果は、8月入試は平成22年7月20日(火)、12月入試は10月29日(金)に申請者あてに郵送により通知します。

## 6. 認定基準

出願資格「1の(1)の①, 2の(1)の①, 3の(1)の①」の認定基準は、次のとおりです。

大学, 短期大学, 高等専門学校, 専修学校専門課程又は各種学校を修了し, 又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後, 医療・保健・福祉施設, 教育研究期間, 官公庁, 企業等において平成23年3月までに3年以上の実務研究実績があり, 著書, 学術論文, 研究発表等により本学大学院保健学研究科博士前期課程修了と同等以上の学力があると認められる者

## ・ 出願期間

8月入試は, 平成22年7月23日(金)～7月29日(木)〔必着〕

12月入試は, 平成22年11月5日(金)～11月10日(木)〔必着〕

(注) 出願書類の提出は, 郵送(書留速達)に限ります。土曜日及び日曜日の受付は行いません。

出願資格審査に提出した書類は, 重複して提出する必要はありません。

## ・ 出願手続等

### 1. 出願方法及び提出先

(1) 志願者は, 出願書類等を取りそろえ, 本要項に添付の指定封筒(「大学院博士後期課程出願書類在中」)を使用して郵送(書留速達)により提出してください。出願期間内必着とします。

(2) 提出先

〒951-8518 新潟市中央区旭町通2番町746番地  
新潟大学医歯学系保健学科事務室学務係

### 2. 出願にあたっての注意事項

(1) 入学願書の志望教育研究分野は必ず記入してください。

(2) 既納の検定料及び出願書類等は, 返還しません。

ただし, 検定料振込み後, 出願期間内に 出願書類を提出しなかった場合は, 当該検定料(30,000円)を返還します。

詳細は, 新潟大学ホームページ「納付済検定料返還手続き」

([http://www.niigata-u.ac.jp/gateways/admissions/10\\_admissions/henkan.html](http://www.niigata-u.ac.jp/gateways/admissions/10_admissions/henkan.html))を参照してください。

なお, 請求書の郵送を希望される方は, 財務部資産管理課支出係まで連絡してください。

返還請求書送付先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地  
新潟大学財務部資産管理課支出係

☎ (025) 262-6054

(3) 出願書類に虚偽の記載内容があった場合には、入学後においても入学が取り消されることがあります。

また、出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。

(4) 提出された出願書類等及び記載されている個人情報、入学後選抜に係る業務に使用します。

また、出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績については、入学者のみ①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），③授業料等に関する業務を行うために利用します。

### 3. 受験票の発送

8月入試は平成22年8月6日(金)に、12月入試は平成22年11月18日(木)に発送します。

## ・ 入学者選抜の方法

一般入試は、学力検査等（外国語「英語」，小論文，面接・専門分野「口頭試問」）及び出願書類により総合的に判定します。

特別入試（社会人・私費外国人留学生）は、学力検査等（小論文，面接・専門分野「口頭試問」）及び出願書類により総合的に判定します。試験科目の外国語「英語」については、特別入試（社会人・私費外国人留学生）志願者は受験を要しません。

### 学力検査等実施日時・試験場

#### ○ 8月入試

試験日	試験科目等	時間	試験場
平成22年8月27日(金)	英語	9:00~10:30	新潟大学医学部保健学科校舎 新潟市中央区旭町通2番町746番地
	小論文	11:00~12:30	
	面接	13:30~	
	専門分野(口頭試問)		

#### ○ 12月入試

試験日	試験科目等	時間	試験場
平成22年12月13日(月)	英語	9:00~10:30	新潟大学医学部保健学科校舎 新潟市中央区旭町通2番町746番地
	小論文	11:00~12:30	
	面接	13:30~	
	専門分野(口頭試問)		

※ 8月入試，12月入試とも

(注1) 専門分野（口頭試問）は、看護学・放射線技術科学・検査技術科学のいずれか志望する分野について行います。

(注2) 受験に際しては、受験票を必ず持参してください。

(注3) 受験者は、試験開始20分前までに集合してください。

## • 合格発表

8月入試は平成22年9月17日(金)午前10時、12月入試は平成22年12月24日(金)午前10時  
医学部保健学科正面玄関に合格者の受験番号を掲示により発表すると同時に合格者には合格通知書を郵送します。

なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

## • 入学手続等

入学手続の概要は、次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

### 1. 入学手続期間

平成23年3月3日(木)～3月4日(金)

- (1) 郵送(書留速達、期間内必着)又は本研究科に来学のうえ、手続きを行ってください。
- (2) 上記期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退として取り扱います。

### 2. 入学に要する経費

入学料 282,000円(予定額)

(注1) 入学料等、10万円を越える現金を振込む際には、金融機関の窓口において、振込みを行う者の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポート、外国人登録証明書等)の提示が必要となります。

本人確認書類の提示がない場合には、現金による振込みができませんので注意してください。

(注2) 入学料免除希望者は、入学手続時に入学料を納付しないでください。

### 3. 入学料免除について

次の(1)～(3)に該当する者のうち、入学手続期間内に所定の申請を行った者について、選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。また、入学料徴収猶予(延納)の制度もあります。

- (1) 経済的理由により、入学料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者

(3) 上記に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

#### 4. 授業料について

年額 535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）〔予定額〕

(注1) 授業料は，入学後，口座引き落としにより納付していただきます。

(注2) 授業料の納付方法の詳細については，合格者に別途通知します。

(注3) 在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

#### 5. 授業料免除について

次の(1)～(3)に該当する者のうち，入学後，所定の期間内に申請を行った者について，選考の上，各期（前期・後期）ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。また，授業料徴収猶予（延納又は月割分納）の制度もあります。

(1) 経済的理由により納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる場合

(2) 授業料の当該期の納期前6か月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は，入学前1年以内）又は納期中に，学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け，納付が著しく困難であると認められる場合

(3) 上記に準ずる場合であって，学長が相当と認める事由がある場合

#### 6. 奨学金について

日本学生支援機構には，学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し，奨学金を貸与する制度があります。

この奨学金は，本人の申請に基づき，学業成績，研究能力及び家庭の経済的事情等を審査し，選考の上，日本学生支援機構に推薦し，決定されるものです。

## ・長期履修学生制度

この制度は，職業（常勤に限る）を有している学生に対して，標準修業年限（3年）を超えて4年又は5年にわたり計画的に教育課程を履修して課程を修了することを可能にした制度です。

この制度を認められた学生（長期履修学生）は，その授業料については，学生の負担軽減を図る観点から，標準修業年限の授業料総額を希望する在学年限で分割して納めることができます。

# 〔進学者選考〕

## ・出願資格等

### (1) 出願資格

新潟大学大学院修士課程又は博士前期課程及び専門職学位課程を、平成23年3月修了見込みの者

### (2) 出願に必要な書類

①進 学 願 書	本研究科所定の用紙
②受 験 票 ・ 写 真 票	所定箇所に写真（3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。）をそれぞれはってください。
③成 績 証 明 書	研究科長が作成し、厳封したもの
④修士課程の修了見込証明書	研究科長が作成したもの
⑤研 究 経 過 報 告 書	本研究科所定の用紙で2,000字程度
⑥研 究（希 望）計 画 書	本研究科所定の用紙
⑦返信用封筒2枚作成 ・受験票在中（小封筒） ・合格通知書在中（小封筒）	・封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 ・「受験票在中」には、郵便切手360円をはってください。 ・「合格通知書在中」の封筒には、郵便切手をはる必要はありません。
⑧連 絡 受 信 先 シ ー ル	志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記したもの
⑨登録原票記載事項証明書 又は旅券の写し	日本に在留する外国人

## ・出願期間

8月入試は、平成22年7月23日(金)～7月29日(木)〔必着〕

12月入試は、平成22年11月5日(金)～11月10日(木)〔必着〕

(注) 出願書類の提出は、郵送（書留速達）に限ります。土曜日及び日曜日の受付は行いません。

## ・ 出願手続等

### 1. 出願方法及び提出先

(1) 志願者は、出願書類等を取りそろえ、本要項に添付の指定封筒(「大学院博士後期課程出願書類在中」)を使用して郵送(書留速達)により提出してください。出願期間内必着とします。

(2) 提出先

〒951-8518 新潟市中央区旭町通2番町746番地  
新潟大学医歯学系保健学科事務室学務係

### 2. 出願にあたっての注意事項

(1) 検定料は不要です。

(2) 進学願書の志望教育研究分野は必ず記入してください。

(3) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更はできません。

(4) 出願書類に虚偽の記載内容があった場合には、進学後においても進学が取り消されることがあります。

(5) 提出された出願書類等及び記載されている個人情報、進学者選考に係る業務に使用します。

また、出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績については、進学後の①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、奨学金申請書)、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

### 3. 受験票の発送

8月入試は平成22年8月6日(金)に、12月入試は平成22年11月18日(木)に発送します。

## ・ 進学者選考の方法

進学者の選考は、学力検査等(外国語「英語」、小論文、面接・専門分野「口頭試問」)及び出願書類により総合的に判定します。

### 学力検査等実施日時・試験場

#### ○ 8月入試

試験日	試験科目等	時間	試験場
平成22年8月27日(金)	英語	9:00~10:30	新潟大学医学部保健学科校舎 新潟市中央区旭町通2番町746番地
	小論文	11:00~12:30	
	面接	13:30~	
	専門分野(口頭試問)		

## ○12月入試

試験日	試験科目等	時間	試験場
平成22年12月13日(月)	英語	9:00~10:30	新潟大学医学部保健学科校舎 新潟市中央区旭町通2番町746番地
	小論文	11:00~12:30	
	面接	13:30~	
	専門分野(口頭試問)		

※ 8月入試, 12月入試とも

(注1) 専門分野(口頭試問)は, 看護学・放射線技術科学・検査技術科学のいずれか志望する分野について行います。

(注2) 受験に際しては, 受験票を必ず持参してください。

(注3) 受験者は, 試験開始20分前までに集合してください。

## ・合格発表

8月入試は平成22年9月17日(金)午前10時, 12月入試は平成22年12月24日(金)午前10時  
医学部保健学科正面玄関に合格者の受験番号を掲示により発表すると同時に合格者には合格通知書を郵送します。

なお, 電話等による合否の問い合わせには, 一切応じません。

## ・進学手続等

進学手続の概要は, 次のとおりです。詳細については, 合格者に別途通知します。

### 1. 進学手続期間

平成23年3月3日(木)~3月4日(金)

- (1) 郵送(書留速達, 期間内必着)又は本研究科に来学のうえ, 手続きを行ってください。
- (2) 上記期間内に進学手続を完了しない場合, 進学辞退として取り扱います。

### 2. 入学金

入学金は不要です。

### 3. 授業料について

年額 535,800円(前期分 267,900円, 後期分 267,900円)〔予定額〕

(注1) 授業料は, 進学後, 口座引き落としにより納付していただきます。

(注2) 授業料の納付方法の詳細については, 合格者に別途通知します。

(注3) 在学中に授業料改定が行われた場合には, 改定時から新授業料が適用されます。

#### 4. 授業料免除について

次の(1)～(3)に該当する者のうち、進学後、所定の期間内に申請を行った者について、選考の上、各期（前期・後期）ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。また、授業料徴収猶予（延納又は月割分納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 授業料の当該期の納期前6か月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）又は納期中に、学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) 上記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

#### 5. 奨学金について

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家庭の経済的事実等を審査し、選考の上、日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

# 〔入学・進学案内等〕

## ・入学・進学案内

### 標準修業年限及び学位

教育研究分野	標準修業年限	授与される学位
看護学 放射線技術科学 検査技術科学	3年	博士（保健学）

## ・「教育方法の特例」〔大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第14条に定める教育方法の特例〕による教育

医療・保健・福祉施設，教育研究機関，官公庁，企業等において活躍中の社会人が本研究科で学ぶ場合，3年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが，このような就学条件を満たすことは一般的に難しいことです。

そこで，このような社会人学生に対しては，大学院設置基準第14条の「大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」の規定に基づき，教育方法の特例を実施します。

この特例により，学生は，それぞれの研究テーマに応じ，指導教員と協議の上，通常の授業形態のほか，夜間講義や週末又は夏期等の休業期間における集中講義等による単位修得の便宜を受けて研究を継続させ，博士論文を作成することができます。

## ・長期履修学生制度

この制度は，職業（常勤に限る）を有している学生に対して，標準修業年限（3年）を超えて4年又は5年にわたり計画的に教育課程を履修して課程を修了することを可能にした制度です。

この制度を認められた学生（長期履修学生）は，その授業料については，学生の負担軽減を図る観点から，標準修業年限の授業料総額を希望する在学年限で分割して納めることができます。

## ・履修科目・履修指導・研究指導等

### 1. 授業科目, 履修方法

#### (1) 授業科目

授業科目は、講義2単位、演習2単位、特定研究4単位からなる。

ただし、特定研究は、博士論文テーマに沿った研究指導を行います。

#### (2) 履修方法

必修科目及び選択科目合計12単位以上を指導教員の指導を受けて履修する。

必修科目：共通コア科目2単位を履修すること。

指導教員の開講する特講2単位、演習2単位及び特定研究4単位を履修する。

選択科目：指導教員の指導を受けて、研究科に開講されている研究支持科目から2単位以上を修得すること。

#### (3) 修了の要件

① 本研究科に3年以上在学して、所定の単位(12単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で大学院の行う博士論文の審査及び最終試験に合格することとします。

#### ② 授業科目の概要

次表の「授業科目一覧表」のとおり共通コア科目、研究支持科目(講義)並びに看護学分野、放射線技術科学分野及び検査技術科学分野の専門科目(講義、演習及び特定研究)を設けます。

なお、開設する授業科目については、19ページ以降に示してあります。

## 授業科目一覧表

### 1. 専攻共通授業科目

#### 共通コア科目

授 業 科 目	単 位	必修・選択
生命と生活の健康科学	2	必 修

#### 研究支持科目

授 業 科 目	単 位	必修・選択
看護学研究法	2	選 択
ケア技術開発法	2	
保健学情報解析法	2	
研究倫理	2	

### 2. 教育研究分野別授業科目

#### 専門科目

教育研究分野	科目区分	授 業 科 目	単 位
看護学分野	専門科目	小児・女性看護学特講	2
		小児・女性看護学特講演習	2
		地域・国際看護学特講	2
地域・国際看護学特講演習		2	
	特定研究	保健学特定研究（看護学）	4
放射線技術科学分野	専門科目	医用物理学特講	2
		医用物理学特講演習	2
		生体機能情報解析学特講	2
		生体機能情報解析学特講演習	2
		臨床画像診断学特講	2
		臨床画像診断学特講演習	2
		医用画像情報学特講	2
		医用画像情報学特講演習	2
		特定研究	保健学特定研究（放射線技術科学）
検査技術科学分野	専門科目	ゲノム・微生物病態検査科学特講	2
		ゲノム・微生物病態検査科学特講演習	2
		生体システム機能検査科学特講	2
		生体システム機能検査科学特講演習	2
		病態病理検査科学特講	2
		病態病理検査科学特講演習	2
		免疫・血液病態検査科学特講	2
		免疫・血液病態検査科学特講演習	2
		特定研究	保健学特定研究（検査技術科学）

## 開設授業科目の概要

### 1. 共通コア科目

授業科目名	担当教員	授業科目の概要
生命と生活の健康科学	佐山 光子 教授 村松 芳幸 教授 関 奈緒 教授 佐井 篤儀 教授 高橋 益廣 教授 宮坂 道夫 准教授 寺尾 通徳 准教授	「生命と生活の健康科学」を「病気になるにくい体作りと社会作りの科学」として捉え、以下に示す予防医学を中心とする内容の授業科目を配置する。また生命倫理では生命科学と医療の急激な発展がもたらした倫理問題について、生命と健康の視点から論じる。(オムニバス方式)

### 2. 研究支持科目

授業科目名	担当教員	授業科目の概要
看護学研究法	高木 廣文 講師(非常勤) 戈木クレイグヒル滋子 講師(非常勤)	看護学における研究の精度の向上と看護アセスメントのための尺度開発、看護実践理論の創出に向けて、量的研究法及び質的研究法の2大研究法の特質と両者の研究プロセスを論ずる。また、2大研究法それぞれにおける倫理課題について論述し、その倫理遵守の具体を教授する。(オムニバス方式)
ケア技術開発法	定方美恵子 准教授 小板橋喜久代 講師(非常勤)	科学的根拠に基づいた全人的なケアの開発とその検証をめぐって、看護実践の倫理及び研究倫理を基盤におき、統合医療及び相補代替療法の基礎理論を教授し、看護支援の技術開発のための研究手法・解析法、さらに全人的看護に対する検証法について、最新の研究成果をもとに論考する。(オムニバス方式)
保健学情報解析法	関 奈緒 教授	Evidence-Based の質の高い保健学研究を立案・実施するために必要かつ適切な保健情報の探索によって得られた情報を批判的に検討し精度を評価する能力を身につける。保健学研究において求められるデータ解析のための高度な統計学手法、保健医療における個人情報情報の適切な取り扱い、倫理的配慮等を学び、さらに文献を素材とした演習および研究計画の実践を通じてその応用力を修得する。
研究倫理	宮坂 道夫 准教授	本科目では、I 総論として(1)生命倫理—医療・生命科学領域で生じている倫理的問題、(2)技術倫理—科学技術や工学領域で生じている倫理的問題、(3)環境倫理—人間の活動が環境にもたらす影響によって生じている倫理的問題、の3領域について、これまでの発達の経緯と理論的基盤についての講義を行う。 その上で、II 各論として、医学・医療に関連する研究活動についての倫理的問題について、(1)倫理原則と法規、(2)個別事例の検討の方法の二つについて、ケーススタディを行いながら検討する。

### 3-1. 専門科目 (看護学分野)

授業科目名	担当教員	授業科目の概要
小児・女性看護学特講	渡邊タミ子 教授 佐山 光子 教授 渡邊 岸子 准教授 定方美恵子 准教授	小児及びライフサイクル各期にある女性と家族の健康支援において、特に多胎児や慢性疾患児とその親、家族の健康問題、不妊や女性特有の心身不調などの健康課題に特化し、心理社会的および身体的な健康・生活支援のための諸理論並びに先端的な看護介入法について論究する。 (オムニバス方式)
小児・女性看護学特講演習	渡邊タミ子 教授 佐山 光子 教授 渡邊 岸子 准教授 定方美恵子 准教授	小児、女性、及び家族の健康支援について、個人や家族の発達過程とともに地理的特性や文化風土も視座におき、特有の支援ニーズをもつ個人や家族の看護介入に関する国内外の文献の講読と批判的思考を通して、学際的な研究方法の理解を深め、それを応用できるように演習を行う。 (オムニバス方式)
地域・国際看護学特講	丹野かほる 教授 西山 悦子 教授 加藤真由美 教授 宮坂 道夫 准教授	人々の健康と地域社会の風土、文化の相互作用に注目し、さらには人々の健康問題について、国境を越えた世界レベルで捉え、特定の国の文化や国情の違いを踏まえながら、その地域で生活する人々の疾病予防のための生活習慣ならび健康行動の測定指標の開発ならび看護介入法、研究法について論究する。 (オムニバス方式)
地域・国際看護学特講演習	丹野かほる 教授 西山 悦子 教授 加藤真由美 教授 宮坂 道夫 准教授	地域社会の風土と伝統・文化、さらには歴史・政治経済といった社会環境を視座におき、特有の支援ニーズを持つ人々の健康問題に焦点をあて、援助理論やケア開発技術について国内外の論文の精読と批判的思考を通して、地球規模での健康支援の研究手法の理解を深め、それを応用出来るように演習を行う。 (オムニバス方式)
保健学特定研究(看護学)	丹野かほる 教授 西山 悦子 教授 渡邊タミ子 教授 佐山 光子 教授 加藤真由美 教授 渡邊 岸子 准教授 定方美恵子 准教授 宮坂 道夫 准教授	看護学の視点から健康や生活支援に関わる研究課題を設定し、倫理的配慮にもとづいて研究計画の立案、各種調査法や実験法等によるデータ収集、質的又は統計学的手法を用いて分析し、それらを通して研究論文の作成に至るまでのプロセスを自立してできるように指導する。

### 3-2. 専門科目 (放射線技術科学分野)

授業科目名	担当教員	授業科目の概要
医用物理学特講	和田 眞一 教授 川瀬 俊為 教授 齋藤 正敏 教授	放射線医学分野における物理学の画像診断及び放射線治療への応用について、先端的研究を中心に教授する。 (オムニバス方式)
医用物理学特講演習	和田 眞一 教授 川瀬 俊為 教授 齋藤 正敏 教授	医学物理領域の研究に関する文献や資料を輪読すると共に、講義内容の理解深化を目的としたコンピュータシミュレーション等の演習指導を行う。 (オムニバス方式)
生体機能情報解析学特講	坂本 信 教授 高橋 俊博 教授 大久保真樹 准教授	生体の機能について生体医工学あるいは生理・生化学的観点から、放射線技術等を用いて解析を行う手法とその臨床応用について探求する。 (オムニバス方式)
生体機能情報解析学特講演習	坂本 信 教授 高橋 俊博 教授 大久保真樹 准教授	MRI、超音波、放射線技術と放射性薬剤等を利用した生体の機能を解明するため新たな理論や技術について、演習を通じて追究する。 (オムニバス方式)

授業科目名	担当教員	授業科目の概要
臨床画像診断学特講	木村 元政 教授	各種疾患における X 線 CT, MRI, 核医学など画像診断法の臨床的応用について探求する。また、各検査法から得られる機能情報に関連する定量的評価法について考究する。 (オムニバス方式)
臨床画像診断学特講演習	木村 元政 教授	X 線 CT, MRI, 核医学などのファントムデータ及び臨床データを用いて、各種画像診断法の定量的解析について演習を通して探求する。 (オムニバス方式)
放射線治療学特講	細井 義夫 教授	放射線治療の生物学的基礎となる放射線腫瘍生物学について臨床に即した視点で探求する。分割照射, 重粒子線治療, 定位放射線照射等について生物学的意義を考え、治療成績向上のために必要な課題について考究する。
放射線治療学特講演習	細井 義夫 教授	細胞の放射線感受性を決定する DNA 2 重鎖切断修復や放射線誘発アポトーシスに関連する情報伝達経路が明らかになり、放射線感受性を分子レベルで捉えることが可能となっている。従来放射線治療や放射線腫瘍学が最新の分子レベルの知見とどのように関係しているかを演習を通して探求する。
医用画像情報学特講	佐井 篤儀 教授 関谷 勝 准教授	放射線, 電磁波, 超音波などの媒体を用いて得た画像情報を異なる角度からの最新の画像処理・加工技術, 解析手法について探求する。また、コンピュータ診断支援システムの開発のポイント及びそのシステムの精度の評価法等について考究する。 (オムニバス方式)
医用画像情報学特講演習	佐井 篤儀 教授 関谷 勝 准教授	画像情報を解析し、その特徴を抽出するための画像処理法や画像情報の定量的最新評価法の演習を行う。更に、コンピュータ診断支援システム構築の実例について、その構築から評価までの演習を通してシステム開発に向けた概念を探求する。 (オムニバス方式)
保健学特定研究 (放射線技術科学)	和田 眞一 教授 川瀬 俊為 教授 坂本 信 教授 高橋 俊博 教授 木村 元政 教授 佐井 篤儀 教授 細井 義夫 教授 齋藤 正敏 教授 大久保真樹 准教授 関谷 勝 准教授	放射線技術科学に関する先端的基礎研究及び臨床応用研究課題を設定し、研究計画の立案、実験によるデータの収集と分析を通して研究論文作成を行う。

### 3-3. 専門科目 (検査技術科学分野)

授業科目名	担当教員	授業科目の概要
ゲノム・微生物病態検査科学特講	高橋 由明 教授 寺尾 通徳 准教授	ゲノムの構造と機能の全体像を明確にし、遺伝子発現調節, ゲノム研究の方法論, ゲノムの分子生物学的及びコンピュータによる解析法について教授する。また、感染の成立に関与している病原体側の主要な因子の検索手法及び同定法を教授するとともに、宿主側の防御機構の多様性とその検査手法並びに感染予防法について教授する。 (オムニバス方式)

授業科目名	担当教員	授業科目の概要
ゲノム・微生物病態検査科学特講演習	高橋 由明 教授 寺尾 通徳 准教授	極微量検体からのDNA抽出方法並びに抽出されたDNAの取り扱いに関する新しい技術を演習するとともに、レジオネラ菌、溶血レンサ球菌、淋菌、代表的な再興感染症である結核等の病原微生物による感染症の分子遺伝学的並びに免疫学的検査法について演習する。 (オムニバス方式)
生体システム機能検査科学特講	仲澤 幹雄 教授 藤原 直士 教授 池主 雅臣 准教授 松田 康伸 准教授	生体システムにおける情報伝達及び情報処理のメカニズムとその解析方法について教授するとともに、循環器系疾患の診断と心機能評価における超音波検査、各種心電図検査、並びに腹部臓器に対する超音波検査について、早期診断のための検査法と治療への応用を含め教授する。 (オムニバス方式)
生体システム機能検査科学特講演習	仲澤 幹雄 教授 藤原 直士 教授 池主 雅臣 准教授 松田 康伸 准教授	個体、臓器・組織、さらに、細胞、細胞内小器官等の生体システムにおける情報伝達及び情報処理について、研究モデルの作成、情報の検出・計測及びデータ処理等の新しい研究方法について演習するとともに、病態生理機能学に関する新しい検査技術についての演習も行う。 (オムニバス方式)
病態病理検査科学特講	岩淵 三哉 教授 平野 茂樹 教授	機能的・形態的に異常を起こした細胞が生体に種々の腫瘍性及び非腫瘍性疾患を惹起する過程について解説するとともに、生体における正常細胞と異常細胞の形態的・機能的変化とその解析方法について教授する。 (オムニバス方式)
病態病理検査科学特講演習	岩淵 三哉 教授 平野 茂樹 教授	細胞・組織の形態的検査法である基本染色、組織化学染色、免疫組織化学染色、遺伝子発現を捉えるための免疫染色やin situハイブリダイゼーション法及び多重染色法と電顕的検索法を用いた細胞分子レベルでの新しい病態検査法について演習する。 (オムニバス方式)
免疫・血液病態検査科学特講	折笠 道昭 教授 中野 正明 教授 高橋 益廣 教授 成田美和子 准教授	免疫系の恒常的破綻による疾患についての概要を解説した上で糸球体腎炎及び膠原病を例にとり、その発症メカニズム及び検査法を教授する。血液学では特に造血器腫瘍に関する診断、治療の評価、及び新しい治療法の開発と関連する各種の新しい検索手段について教授する。 (オムニバス方式)
免疫・血液病態検査科学特講演習	折笠 道昭 教授 中野 正明 教授 高橋 益廣 教授 成田美和子 准教授	腎疾患及び自己免疫疾患の病因病態解析に関する検査法を演習するとともに、造血器腫瘍の病態の解明、診断、治療の評価と新しい治療法の開発に必要な検査技術についても演習する。 (オムニバス方式)
保健学特定研究（検査技術科学）	高橋 由明 教授 仲澤 幹雄 教授 藤原 直士 教授 岩淵 三哉 教授 平野 茂樹 教授 折笠 道昭 教授 中野 正明 教授 高橋 益廣 教授 池主 雅臣 准教授 成田美和子 准教授 松田 康伸 准教授	分子、細胞、組織、個体の各レベルにおける生体機能とその物質基盤、及び各種疾患の病因、病態の解明に関連する検査技術に関する研究課題を設定し、研究計画の立案、実験の準備および実施、データの収集・解析、論文作成を行い、各研究テーマについて研究・指導を行う。

## 特定研究指導教員一覧

分野	教員名	主な研究テーマ	照会先メールアドレス
看護学	丹野かほる	開発途上国におけるリプロダクティブヘルスと母子保健, ジェンダーと健康問題の看護介入方策	tanno
	定方美恵子	女性の不定愁訴に対するケア技術開発法	atom
	西山 悦子	地域社会の諸特性と人々の生活習慣と健康問題の評価法と看護介入法	enishi
	渡邊タミ子	障害児・慢性疾患児とその家族の健康支援法	watamiko
	佐山 光子	性と生殖の健康に関する女性・家族の意志決定と介入法	msaya
	加藤真由美	転倒・転落予防に関する研究	mykato
	渡邊 岸子	不登校児の心理社会的問題と看護カウンセリング	watanabe
	宮坂 道夫	生命倫理学, 医療倫理学, 看護倫理学の方法論についての研究, ナラティブ・アプローチについての研究	miyasaka
放射線技術科学	和田 眞一	医学物理領域の新しい画像診断法の開発	swada
	川瀬 俊為	レーザー分光学に関する基本特性	skawase
	坂本 信	X線, MRI 及び超音波を利用した生体構造及び機能の解析	sakamoto
	高橋 俊博	放射性薬剤を利用した核医学診断を用いて腫瘍, 心臓疾患, 脳血管障害等の生体情報解析	takatosi
	木村 元政	CT, MRI, SPECT, PET などの画像検査所見と臨床像並びに機能面との関係及び診断能を高めるための方法論	kimura
	佐井 篤儀	医療用コンピュータ診断支援システムの構築法	tsai
	細井 義夫	放射線感受性を決定する細胞内情報伝達経路の解明と新しい分子標的放射線増感法の開発	hosoi
	齋藤 正敏	医用 X 線イメージングに関する新規手法の研究・開発	masaito
検査技術科学	大久保真樹	X 線および核磁気共鳴を利用した生体情報の計測と解析	mook
	関谷 勝	放射線画像・検査の質的研究	mseki
	高橋 由明	ゲノム解析法, プロテオーム解析法及び遺伝子診断法	yoshiaki
	藤原 直士	生体機能情報を解析する新しい技術	naochan
	仲澤 幹雄	生体の恒常性維持機構と疾病の関連	nakazawa
	平野 茂樹	各種顕微鏡を駆使しての細胞・組織の解析方法	hiranosg
	岩渕 三哉	消化器の炎症性疾患と腫瘍の形態的变化を解析する検査技術	iwafuchi
	折笠 道昭	糸球体腎炎発症機序の免疫学的解析	orikasa
	中野 正明	膠原病の病型分類と自己抗体による臓器障害との関連	manakano
	高橋 益廣	造血器腫瘍の病型診断や抗腫瘍免疫能の評価のための検査技術	matak
池主 雅臣	心臓突然死の予知と予防, 病態解明に関する研究	masaomi	
成田美和子	白血病における腫瘍抗原特異的免疫反応に関する検討	naritami	
松田 康伸	肝細胞がんの DNA 修復機構の解析	yasunobu	

(メールアドレスは「@clg.niigata-u.ac.jp」の表記を省略)

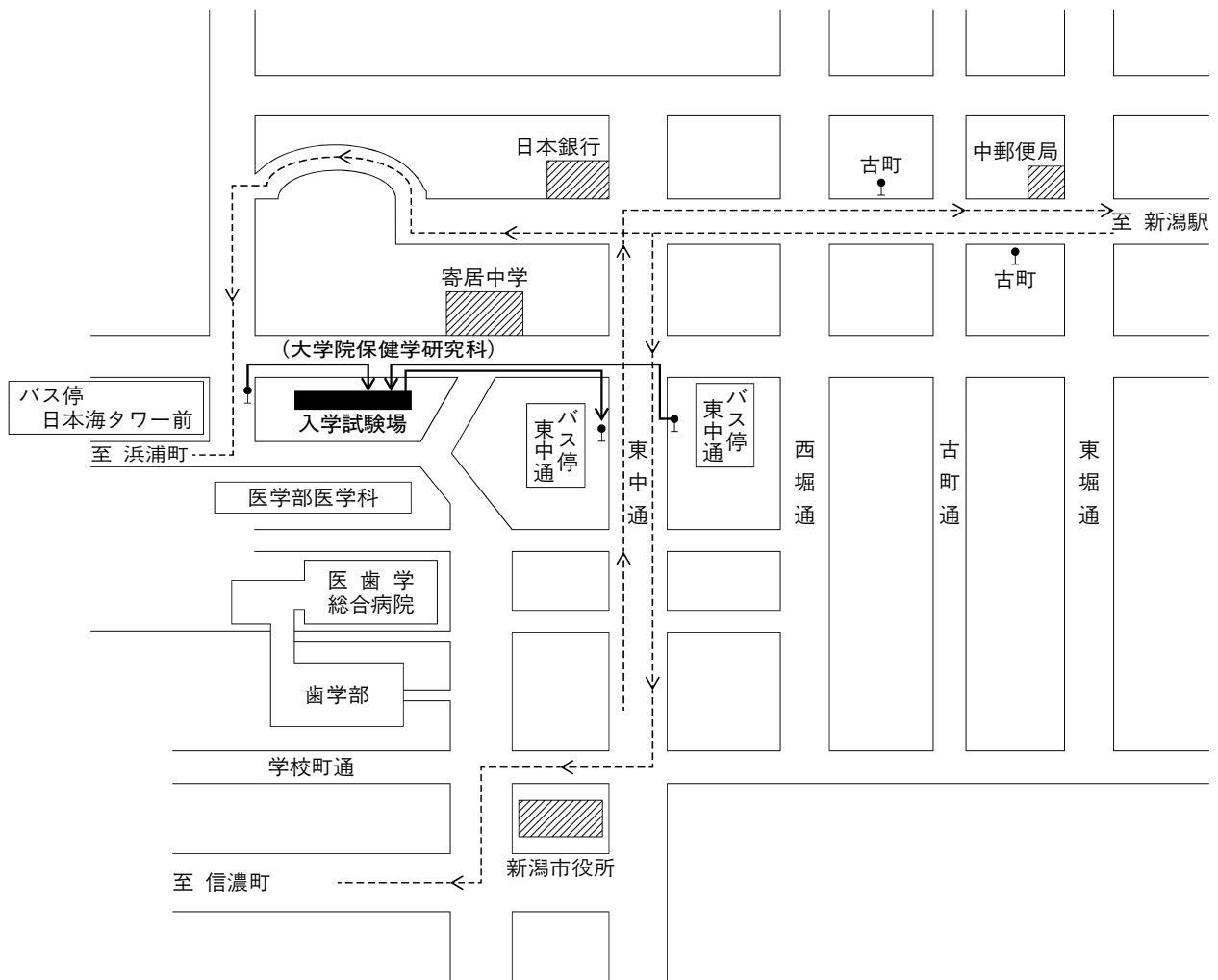
博士後期課程の入学試験に関する照会先  
〒951-8518 新潟市中央区旭町通 2 番町746番地  
新潟大学医歯学系保健学科事務室学務係  
☎ (025) 227-2357・2358

# 新潟大学大学院保健学研究科入学試験場案内図

場所：新潟大学大学院保健学研究科

新潟市中央区旭町通 2 番町746番地

☎ (025) 227-2357・2358



## 備考

### 1. 交通（バス）案内（往路）

- 新潟駅前発「西循環線〈浜浦町先回り〉バス」に乗車し、「日本海タワー前」下車、徒歩約1分。
- 新潟駅前発「西循環線〈信濃町先回り〉バス」に乗車し、「東中通」下車、徒歩約5分。

### 2. 交通（バス）案内（復路）

- バス停「東中通」より、「新潟駅前」行に乗車

### 3. 案内図中 ----- 線はバス路線を、●印はバス停留所を示します。

### 4. 案内図中 ——> 線は徒歩を示します。